



黒川 美克 議員

都市計画道路について

問 吉浜榎尾線について問う。

答 この道路は、地元町内会から信号交差点化の要望を受け、知立建設事務所と碧南署へ要望していました。しかし、信号設置には課題が多く、引き続き信号機等の設置について、知立建設事務所と協議を進めます。

問 吉浜榎尾線の名古屋碧南線との接続について問う。

答 流作グラウンドは道路整備に必要な用地で、提案の代替地としての高浜専門校の跡地利用は、跡地処理の進捗を見据えて検討します。

問 都市計画道路西尾知多線について問う。

答 この路線は、膨大な費用と期間が予想されます。県への要望活動を行っていますが、優先順位の高い路線から整備が進められています。衣浦豊田線の4車線化、衣浦大橋東交差点の渋滞対策事業に集中するとのこと。年1回、

年度当初に知立建設事務所への要望会を開催し、知立建設事務所幹部と現地確認を行い、事業要望を毎年継続して行います。

問 都市計画道路碧南高浜線について問う。

答 平松橋南交差点と碧南高浜線で新たにできる交差点との距離が短く、平成17年3月に県公安委員会と道路法に基づく協議を行い、その際、現道の平松橋南交差点南北方向の通行を遮断する必要があるとの指導を受けており、この路線は、衣浦豊田線の高架完成時期や地域住民との合意形成が必要となっています。

問 都市計画道路衣浦豊田線について問う。

答 高浜高架橋が本年3月下旬に供用開始の予定。一方、刈谷市から南進する区間では拡幅事業として4車線化の暫定整備が進み、吉浜小学校東交差点までは平成30年度早期に4車線の供用開始が始まる。引き続き、残り区間の蛇抜高架部や神明町交差点から平松橋南交差点の区間も測量や設計に取り掛かり、4車線化や蛇抜高架橋の整備を進めると聞いています。

衣浦大橋東交差点から碧南市までも、高浜川に架かる汐留橋の片側2車線の設計が終わり、事業予算の確保に努めています



小野田 由紀子 議員

教育行政について

問 本市では、既に小中学校にAEDが設置されているが、児童・生徒への心肺蘇生教育の現状と今後の方向性や教職員のAED講習の実施状況など、突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について問う。

答 平成22年度から心肺蘇生法とAEDの実技を全ての学校で、小学校6年生と中学校2・3年を対象に毎年行ってきた。講師は、高浜市応急手当普及ボランティアの会と高浜市赤十字奉仕団で、全員が心肺蘇生用の人形とAED見本を使用し、実技体験をする。今後は、小学校5年生の保健授業に合わせて実施していく予定。教職員も市内全ての小中学校で、心肺蘇生法とAEDの実技を現職研修として行っている。夏季休業中には、救急処置対応シミュレーション講習も行っている。

問 「男女共同参画社会」の進捗状況や「女性活躍推進計画」の内容と、今後の取り組みについて問う。

答 審議会等に占める女性委員の割合は26.9%。防災会議における女性委員の登用は24名のうち2名。教員の管理職に占める女性の割合は28.6%と、県が掲げる平成32年度の目標17%対し、目標値を達成している。学校での児童会・生徒会に占める女子児童・生徒の割合は53.8%と、男子と女子がそれぞれ4割から6割程度となるよう配慮されている。「高浜市女性活躍推進計画」は、目標の1つ目の「家庭や地域活動とのバランスを取りながら働くことができるようにしよう」では、子育てを総合的に支援できる体制を強化し、男性の家庭や地域活動への参加・参画につながる取り組みを進める。目標の2つ目の「職業生活において、もっと力を発揮できるようにしよう」では、人材育成セミナーやキャリアアップに関する情報を提供。愛知県の「女性の活躍促進宣言」を行っている事業所は12社で、「あいち女性輝きカンパニー」の認証を受けている事業所は10社と、共に増加し、女性活躍推進の広がりを見せている。

「男女共同参画社会」について